

自己評価表(京都栄養医療専門学校 管理栄養士科)

1. 学校の教育目標

<p><道標></p> <p>1. 傷病者の療養および国民の健康増進の一翼を担う高度な専門知識と技能を身につける 2. 的確な栄養評価・判定に基づき、EBNに立脚した栄養管理を行うために必要な素養を育む 3. 特定多数人に対する食事サービスを的確に統括・管理するためのマネジメント能力を培う 4. 保健・医療・福祉に携わる多職種を理解し、協働・連携して活躍できる幅広い見識を備える 5. 豊かな人間性を培い、対象者の行動変容を促すことのできる優れたコミュニケーション能力を修得する</p> <p><ディプロマポリシー></p> <p>管理栄養士に求められる知識や技術は近年ますます高度化しており、修得した能力を応用して実践し、人類の福祉増進に寄与する人材が求められています。本校管理栄養士科の卒業生は、急速に変化する実社会において、時代を先取りできる高度専門士として、卒業時に以下の能力や姿勢を身につけておく必要があります。</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士の資格取得に相応しい基本知識や技能 ・チーム医療において中心的役割を担うための臨床栄養に関する高度な知識と技術 ・個人に最適な栄養ケアを行うための卓越した調理技術と献立作成能力 ・個人や集団・地域の状況に合わせた健康づくりの施策を提案・展開する能力 ・ITを活用して科学的知見や情報を収集・分析し、根拠に基づいて論理的に判断できる能力 ・栄養部門や給食部門を統括・管理し、適切な栄養管理や給食管理を行うためのマネジメント能力 <p>【態度・姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士の社会的使命や職業倫理、およびホスピタリティマインドを理解し、自らの資格や技能を用いてそれらを表現する姿勢 ・対象者の意識の変容を促し、生活習慣の改善につなげられる豊かな人間性とコミュニケーション力 ・食文化や食環境に精通し、多彩な食事サービスで対象者をもてなそうとする姿勢 ・社会や環境の変化を取り入れ、的確に対応できる柔軟性と俊敏性
<p>2. カリキュラムポリシー(教育課程編成・運営の方針)</p> <p>管理栄養士科では、体系的に編成した科目横断型授業により、根拠に基づいて考え、実践できる管理栄養士を目指します。また、食や栄養に関する学びを広げるための実践的な授業や活動を通し、社会で即戦力として活躍するための職業能力や人間力の向上に努めます。</p> <p>【基礎分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学・生物学・数学・語学などの基礎教育を通じ、栄養を深く学ぶための土台を形成します。 ・管理栄養士の役割や求められる能力・考え方を学び、各々が理想とする管理栄養士を目指して人間形成に努めます。 ・管理栄養士資格を確実に取得するために、国家試験合格に向けた全般的な能力向上を図ります。 <p>【専門基礎分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会・環境の視点および人体の構造や機能の視点から、栄養・健康に関するさまざまな問題を幅広く学びます。 ・食べ物や料理を科学的視点から学び、理論に基づく高度な調理技術や衛生管理手法を修得します。 <p>【専門分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な実験・実習・演習科目を通じ、基礎分野や専門基礎分野で学んだ理論を専門知識・技術と連動させ、職業として活用できる能力に醸成します。 ・生活習慣病や各種疾病に関する知識や予防・改善法、および栄養ケアプロセスの手法を学び、チーム医療の中心的役割を担える人材を目指します。 ・給食部門の責任者としての役割を果たすための給食経営管理の手法を学びます。 ・1年次からインターンシップ制度を設け、在学中に管理栄養士の実際の業務を数多く体験することで、管理栄養士に求められる知識・技能や姿勢を学びます。 ・2年次の食物・栄養実践研究では、食や栄養の分野で生じる様々な課題や問題を深く探求し、調査や観察・実験を経て、各々の解決策や真理を追究します。 ・3年次の臨地実習では、現場での活動を通して管理栄養士に求められる専門知識と技術の統合を図り、即戦力として活躍するための実践的な能力を高めます。 ・4年次には4つの選択コースを設け、それぞれの就職先で求められる知識や技術をより専門的に学ぶことで、各分野のスペシャリストを目指します。 <p>【教職に関する科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭第1種免許を取得するための課程を設け、食育を通じて子どもたちの成長に関わる教育手法を学びます。
<p>アドミッションポリシー</p> <p>管理栄養士科では、栄養・医療・福祉・保健・食育に関する問題を学び、修得した知識や技術、幅広い見識を用いて社会で活躍することで、社会に貢献できる管理栄養士の養成を目標としています。そのために、次の要件を満たす学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 管理栄養士としてホスピタリティマインド(人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする精神)を有し、人の健康増進に貢献する意欲をもつ人 ② 食や健康に関する問題に興味をもち、それらを主体的に学び、発展させたい意欲をもつ人 ③ 栄養・医療・福祉・保健・食育の分野で活躍し、人々の生活の質の向上に貢献したい人 ④ 他者とのコミュニケーションや関わりを大切にできる人 ⑤ 規範やモラルを重んじ、何事においても真摯さ、正直さ、誠実さを備えた姿勢で取り組める人

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<ol style="list-style-type: none"> ① 新カリキュラムの適正な運営とアクティブラーニングの推進 ② 管理栄養士国家試験全員受験と100%合格および栄養士実力認定試験全員認定A取得に向けた取り組み ③ 中核的専門人材の養成に向けた臨地実習の充実 ④ 科目横断型授業や学生交流を重視したスムーズな学習支援 ⑤ 学生のライフデザイン力醸成とアカデミック・インテグリティの遵守 ⑥ 教員・助手の職能開発と人間的魅力の向上および教育への還元 ⑦ 入口と出口を見据えた栄養教諭養成課程の創生

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	過年度の評価			
	###	2014	2013	2012
・理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4
・学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4	4	4
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4	4	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられている	4	4	4	4

① 課題

--

② 今後の改善方策

--

③ 特記事項

<p>・学園として10年先を見据えた長期経営目標、3年に1度の中期経営計画、単年度ごとの学園運営方針を体系的に策定し、その内容を学校ごとの学校運営方針、部署ごとの事業計画書、さらには教職員個々人の目標(チャレンジシート)に落とし込んで、それぞれの目標が達成できるように取り組んでいる。</p>
--

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1	長期経営目標、中期経営計画、学園運営方針、学校運営方針を体系的に策定している。	・長期経営目標 ・中期経営計画 ・学園運営方針 ・学校運営方針 ・事業計画 ・ホスピタリティ・レポート(学園概要 & SR報告書)	4	4	4	4
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1	各部署事業計画を学校運営方針に沿って策定している。	・学園運営方針 ・学校運営方針 ・事業計画	4	4	4	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1	法人の管理規則に明記され、規則に則り運営されている。	・コンプライアンスマニュアル(管理規則)	4	4	4	4
・人事、給与に関する制度は整備されているか	4 3 2 1	法人において、人事規程、人事考課規程を定めている。	・コンプライアンスマニュアル (給与規程、人事規程、人事考課規程)	4	4	4	4
・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4 3 2 1	法人の管理規則、経理規程に則り整備されている。	・コンプライアンスマニュアル (管理規則、経理規程)	4	4	4	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1	法人において、グループ・ガバナンスを構築し、全教職員にコンプライアンスマニュアルを配布し、周知徹底を図っている。	・コンプライアンスマニュアル(管理規則、庶務規程、情報セキュリティポリシー、プライバシーポリシーなど)	4	4	4	4
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1	入学案内書、ホームページ、ホスピタリティ・レポート(学園概要 & SR報告書)などを通じて、情報公開している。	・入学案内書 ・ホームページ ・ホスピタリティ・レポート(学園概要 & SR報告書)	4	4	4	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1	独自の業務支援システムを活用し効率化を図っている。	・業務支援システム	4	4	4	4

① 課題

・教育活動に関する情報公開は実施しているが、授業評価結果等は公開していない。
・業務支援システムが導入され、十数年が経過しており、必要に応じて継続的に改修をしているが、改修内容によっては費用的なこともあり、先送りや運用で対応することがある。

② 今後の改善方策

・2019年度に専門職大学移行を見据えた、更なる情報公開を検討していく。
・業務支援システムは、2017年度に改修・移行作業を行い、2018年度から稼働予定。

③ 特記事項

・各種規程・規則をまとめた「コンプライアンスマニュアル」において組織の意志決定や人事、給与に関する規程、セキュリティポリシーなどを定め、コンプライアンスの周知徹底をはじめリスクマネジメントの強化など、公正かつ透明性の高いグループ・ガバナンスを構築している。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1	教育理念より教育綱領、道標、教育目標、教育課程を体系的に策定している。	・学則規定集 ・シラバス集	4	4	4	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1	教育目標に沿ったカリキュラムを編成し、3,400授業時間以上を確保している。	・シラバス集	4	4	4	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1	2016年度生より、専門知識の積み上げに加え、実践的な学習を促進するカリキュラムに改編した。	・シラバス集	4	4	4	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1	2016年度生より、専門知識の積み上げに加え、実践的な学習を促進するカリキュラムに改編した。	・シラバス集	4	4	4	4
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1	関連分野の企業・関係施設、業界団体及び本校教職員で教育課程編成委員会を組織し、連携してカリキュラムの見直しを実施している。	・教育課程編成委員会報告書	4	4	4	3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1	3年次に臨地実習(病院・高齢者福祉施設・保健所)を実施している。	・臨地実習関係資料	4	4	4	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1	全ての授業を対象に授業評価を実施している。	・授業評価実施要領	4	4	4	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1	外部委員を招聘し、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を組織し、外部関係者からの評価を取り入れている。	・教育課程編成委員会報告書 ・学校関係者評価委員会報告書	4	4	4	2
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4 3 2 1	各科目60点以上を単位認定としている。	・学則規定集	4	4	4	4
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1	管理栄養士国家試験の合格を目標に、特別講義(11単位)管理栄養士総合演習(5単位)を設定している。	・シラバス集 ・国家試験対策WG資料	4	4	4	4
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1	毎年の授業評価の結果をもとに、各科目の担当教員の見直しを行っている。	・教員編成一覧	4	4	4	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1	非常勤講師は現場経験や研究業績を基準として厳選して採用している。また、授業内に専門分野の外部講師を招聘し授業を実施している。	・教員編成一覧 ・シラバス集	4	4	4	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1	学会・研修会の参加を積極的に推奨している。	・研修規定 ・派遣研修規定	4	4	4	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1	学園主催の集合研修を中心に、年間を通じて能力開発研修を実施し、職員の能力向上を図っている。	・研修規定 ・派遣研修規定	4	4	4	4

① 課題

・よりよい授業改善につながる取り組み強化。
・現場業務に直結した実学教育の展開。また、継続的な個々の教員の資質向上。

② 今後の改善方策

・関連業界との良好な人間関係を構築することで、求められる人材をしっかり見極め、現場が求める学生の人材養成に努める。
・教員が最新の業務を修得し、資質を高めていくために学会、研修会に積極的に参加・発表する。

③ 特記事項

・授業評価を詳細に分析し、各授業における改善項目を抽出して、次期の授業運営に反映させている。また、常勤教員の科目入れ替えや非常勤教員の交代など、常に授業評価を最大限に高める人員配置に努めている。外部講師を積極的に招聘し、管理栄養士が活躍する現場の最先端の情報を学生に提供できるように配慮している。

・教員・助手の学会参加を積極的に奨励し、すべての教員が年1回以上、校費で学会に参加できるサポート体制を敷いている。学会参加後には1週間以内に報告書を作成する規則となっており、学会で得られた情報や最新の話題を教職員全員で共有することで教育に還元させている。

・地域連携講習会の開催により、病院や高齢者施設の管理栄養士・栄養士とのコミュニケーションを図り学生自身が実際に理解できるように取り組んでいる。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価						
				###	2014	2013	2012			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	例年高い就職率、専門職就職率の実績を残している。	・入学案内書 ・ホームページ「就職支援」	4	4	4	4
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	第31回管理栄養士国家試験合格率は98.1%である。	・入学案内書 ・ホームページ「資格・検定」	4	4	4	4
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1	正副担任による学生個別面談を定期的に行い、悩みや不安を共有することで、退学者の防止に努めている。また、正副担任のサポート以外に、入学直後に基礎科目勉強会もを行い、学力不安の解消に努めている。	・在席状況報告表	4	4	4	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	在校生は臨地実習先による実習評価を行っている。また、卒業生は事業所訪問での情報収集などにより把握している。	・実習先評価表 ・事業所訪問履歴	4	3	3	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	卒業生を招いた授業を設け、卒業生の立場から在学中の学習ポイントのアドバイスをを行っている。	・総合セミナーシラバス	4	4	4	4

① 課題

・進路決定率100%の達成とともに、質の向上を図る。

② 今後の改善方策

・内定の際に希望度合いを確認し、第一希望進路決定率を把握する。
・継続的な同窓会活動とOBOGサイト等の活発化により卒業生の動向を把握する。

③ 特記事項

・臨地実習後は現場指導者からのアンケートを行い、次年度以降の指導方針にフィードバックしている。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価						
				###	2014	2013	2012			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	全学生に職業指導の授業を履修させているとともに、One to Oneのキャリアサポートを実践している。	・入学案内書 ・ホームページ「就職支援」	4	4	4	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	正副担任及びカウンセラーを配置している。	・正副担任一覧	4	4	4	4
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	独自の待待生・奨学生制度を整備している。	・待待生・奨学生制度	4	4	4	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1	校医を1名配置している。また、入学時の結核健診や保菌検査、健康チェックシートの記入による学生個々の健康状態を把握し、教職員間で情報共有している。	・健康チェックシート	4	4	4	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	各種学校行事(学外研修、研修旅行等)の実施やクラブ活動、各種講習会の学生参画を支援している。	・クラブ活動規定 ・各種講習会報告書	4	4	4	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	住居の支援体制を整え、正副担任、カウンセラーが生活環境の不安の相談など解消にあたっている。	・住宅支援資料	4	4	4	4
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	就職活動学年の保護者に対して、就職説明会を実施している。定期試験結果を保護者宛に通知している。	・保護者対象就職説明会実施要領	4	4	4	4
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	再就職登録の支援や、国家試験対策講座を実施している。	・同窓会報	4	4	4	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	栄養士科から管理栄養士科への内部編入をスムーズにできるように心がけており、社会人のキャリアプランに対応している。入試において、社会人対象の試験区分を設け、また、社会人対象の奨学金を整備している。	・編入学制度	4	4	4	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1	高校と連携し、職業理解を目的に見学会を実施している。	(活動例) ・西山高校見学会 ・乙訓高校講座	4	4	4	4

① 課題

・保護者の学校理解(規定、教育、就職サポートなど)促進に努める必要がある。

・課外活動に対する総合的な支援の整備が求められる。

・再就職登録者の増加。

② 今後の改善方策

・学習成果だけでなく、教育内容等の定期的な情報発信を行い、本校教育の取り組みに対する理解促進につなげ、学生、保護者、学校が三位一体となった職業教育を実践していく。

・多くの課外活動の目的・目標を明確にし、学生の能力を最大に引き出せる体系的な編成を行う。

・再就職登録に向けて、SNSも活用し案内する。

③ 特記事項

・ハラスメント・ポリシーの策定、ハラスメント委員会の配置により、ハラスメントフリーに取り組んでいる。

・3年次編入生には個別のオリエンテーションを行い、個々の学生が最短期間で科目履修を行うためのアドバイスと学習システム・時間割の改善を行っている。

・学生一人ひとりの希望進路を把握した、One to Oneのサポートに取り組んでいる。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1	2012年に4号館を新築し、少人数でのゼミ授業に対応できる教室を設けた。		4	4	4	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1	学外での実習を卒業必修単位として定め、また、インターンシップも単位化し、事前指導から評価まで体系的な教育体制を整えている。	・臨地実習実施要領 ・インターンシップ実施要領	4	4	4	4
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1	2013年3月に校舎の耐震補強工事を完了した。また、緊急時の役割分担を組織化した。緊急避難マニュアルを整備している。避難訓練を2016年度に実施	・消防組織図	3	3	3	3

① 課題

・現場の状況に合わせた施設・設備の継続的なリニューアルが必要である。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

・本校オリジナルのe-Learningシステムによって、いつでも、どこでも、何度でも学習できる環境を設け、管理栄養士国家試験対策や栄養士実力認定試験対策の強化にあっている。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1	6月以降にAO入学エントリーを開始し、8月以降に出願受付。その他、一般入試等については、10月以降に出願を受け付けている。	・入学要項	4	4	4	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1	就職率や資格・検定合格率については、関連部署に確認を取ったうえで入学案内書に掲載している。	・入学案内書	4	4	4	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1	健全な財務運営や入学者の家計における学費負担などを勘案し、奨学金制度なども含めて、毎年1月に、翌々年度の学納金の額を検討し、決定している。そのことによって学校選択の際には入学希望者があらかじめ学納金を把握できるようにしている。	・入学要項	4	4	4	4

① 課題

・特になし。

② 今後の改善方策

・特になし。

③ 特記事項

・入学希望者は学校選択をする際に学納金の額を確実に把握できるよう、早期に学納金を決定している。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1	入学者を確保できており、予算に基づく適切な収支のバランスが保持できている。将来を見据えたキャッシュフローも確保でき、財務基盤の強化が図れている。	・2016年度決算書	4	4	4	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1	毎年事業計画に則り収支バランスのとれた予算を策定し、執行に際しても管理徹底を行っている。	・事業計画書	4	4	4	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1	月次決算報告会を実施し、学園監事による執行状況のチェックを毎月実施している。	・月次報告会議事録	4	4	4	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1	データ集(大和学園グループの財務状況)をホームページにて公開している。	・データ集「大和学園グループの財務状況」	4	4	4	4

① 課題

・18才人口の大幅減少を見据えた健全な財務運営。

② 今後の改善方策

・新たな教育分野の開拓や定員増等収入の安定確保に繋がる中長期財務計画の策定と取り組み。

③ 特記事項

・特になし

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令遵守はもとより、学園内の諸規程を整備し、すべての規程をコンプライアンスマニュアルという名称で全教職員に配布し周知を図って、適正に運営している。 学則(教務規定)の見直しは毎年行い、法令に従って都度届出等を行っている。	・コンプライアンスマニュアル ・学則	4	4	4	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報に関する独自の規程を定め、問題が起きた際の対処フローも決めて、徹底を期している。	・情報セキュリティポリシー ・プライバシーポリシー	4	4	4	4
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	多元的点検評価と称して、重視度調査・授業評価・満足度調査を学生に対して実施、アンケートで出てきた改善点を授業運営に反映している。 管理栄養士科、栄養士科においては、厚生労働省が養成施設に求めている自己点検項目に沿って自主点検を実施している。 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価を実施し、次年度の取り組みに活用している。	・授業評価アンケート報告書	4	4	4	3
・自己評価結果を公開しているか	4	ホスピタリティ・レポート(学園概要&SR報告書)に卒業時の満足度調査と授業評価の結果について学園の平均点を掲載している。 また、自己評価の結果をHPにて公開している。	・ホスピタリティ・レポート	4	4	4	3

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

・2013年度より自己評価結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催した。各分野の企業等から委員を招聘し、そこでいただいた意見を学校運営に活かす。
・継続して「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価表を作成し公表する。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	各種団体に対し、様々な講習会等を実施するために学校の施設を提供している。	・ホスピタリティ・レポート	4	4	4	4
・生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	学生に対して、地域の方々を対象とした料理教室への参加を支援している。	(活動例) ・ソフト食講習会 ・透析食講習会 ・小学校食育教室	4	4	4	4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	地域の方々を対象とした料理教室を実施している。	(活動例) ・ソフト食講習会 ・透析食講習会 ・乙訓高校調理指導実習 ・御山町立御牧小学校食育料理教室	4	4	4	4

① 課題

・参加する学生が限られている。

② 今後の改善方策

・社会的責任を果たす人材の育成のための活動を積極的に実施する。
・学生が参加できるボランティア活動の案内を充実させる。

③ 特記事項

・社会貢献・地域貢献に関する詳細はホスピタリティ・レポート(学園概要&SR報告書)および、学園ホームページ参照。

(11). 国際交流(必要に応じて)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容	過年度の評価			
				###	2014	2013	2012
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生対象のガイダンスへの参画や日本語学校への訪問などで募集活動を行っている。 また、在学生に対し海外留学制度を設けている。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・訪問計画 ・入学案内書「海外留学・研修プログラム」	4	4	4	4
・受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	留学生の受入れについて、留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生に安心して入学してもらえるよう案内している。 また、大阪入国管理局からの留学生実態調査に毎年回答し提出している。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・留学生実態調査回答用紙	4	4	4	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	英文での卒業証明書、成績証明書を発行している。		4	4	4	4
・学内で適切な体制が整備されているか	4	教務部において留学生カウンセラー制度を設けている。		4	4	4	4

① 課題

・留学生が在籍していない。

② 今後の改善方策

・ガイダンスや日本語学校訪問を積極的に行い、留学生の入学実績を増やしていく。

③ 特記事項

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

長期経営目標、中期経営計画、学園運営方針、学校運営方針を体系的に策定し、目標達成に向け、コンプライアンス遵守を徹底し学校運営に取り組んだ。管理栄養士科においては、管理栄養士国家試験100%合格及び栄養士実力認定試験全員認定A取得を目指し授業運営を改善し、学生の理解度及び学習意欲の向上につなげた。また、新たに導入する2年次の食物・栄養実践研究や4年次の「病院福祉栄養」「スポーツ栄養」「食品開発・研究」「給食マネジメント」「栄養教諭養成」のコース別選択授業を通じて、管理栄養士としての職業観を醸成するとともに、根拠に基づく思考や課題解決力、実践力の向上を図り、他の職種と連携しながら中心的存在として課題解決できる管理栄養士養成に取り組んだ。また、学習成果の向上を目的に授業評価アンケートを行い、日々の授業改善により、実践的かつ専門的な職業教育を実践した。特に授業評価や臨地実習における現場指導者からの評価、国家試験対策の実績はカリキュラムの見直しの際の参考資料として活用した。継続して関連企業や関連団体との連携を充実させ、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を組織し、より社会のニーズに沿った教育カリキュラムの構築や授業運営、学校運営を目指していく。また、今後は本校の適正な評価を得るために、卒業生、保護者、事業所といったステークホルダーに対するアンケートを実施し、アンケート結果をもとに日々の学生指導及び教育に活かしていく予定である。